



# ぐ る り 庄 原 カ メ ラ レ ポ ー ト



## 響き渡る歌声と音色

### けんみん文化祭ひろしま '05ミュージックフェスティバル

11月6日(日)、市民会館で「けんみん文化祭ひろしま'05ミュージックフェスティバル～合唱&洋楽の祭典～」が開催され、県内各地から洋楽7団体、合唱9団体のべ650人が参加。日ごろの練習の成果を、歌声や音色で存分に発揮しました。

また、特別出演の県立広島大学ウィンドオーケストラとアイリッシュミュージックサークルのさわやかな演奏、さらには庄原小学校2・3年生と広島吹奏楽団とのコラボレーション演奏に、会場からは大きな拍手が送られました。

審査の結果、洋楽の部では庄原格致高等学校吹奏楽部が、合唱の部では廿日市混声合唱団が最優秀賞に輝き、来年11月に山口県で開催される「第21回国民文化祭やまぐち2006」への出場権を獲得されました。おめでとうございます。



会場の市民会館にはたくさんの歌声と音色



## 市を挙げた応援に感謝

### 広島カープのブラウン監督が来庁



滝口市長と笑顔で言葉を交わすブラウン監督

広島東洋カープのブラウン新監督が、10月28日(金)、松田オーナーらとともに市役所を訪れました。市の歓迎に対しブラウン監督は、市が今年度結成した「カープ応援隊」に対する感謝を述べると共に、「来季はエキサイティングな試合をしたい」と飛躍を誓いました。

この応援隊は、市を挙げてカープを応援しようと、商工会議所や観光協会、郷心会、市が発起人となり立ち上げたもので、市民球場の年間指定席40席を購入し、市民から参加者を募集。全67試合に約1700人が参加し、市民球場の応援を盛り上げました。なお、応援隊は来季も継続される予定です。

高野地域

芸能と文化の祭典

高野町文化祭



会場に響く三味線の音色と歌声

11月19日(火)・20日(日)の2日間、高野山村開発センターと上高公民館で高野町文化祭が開催されました。

高野山村開発センターには、各教室で取り組まれている書道・短歌・手芸・生花などの作品が多く展示され、来場者は1点1点じっくりと鑑賞。また、上高公民館では、大正琴や詩吟など9団体が芸能発表を行いました。

19日には高野中学校文化祭も開催され、ゴミの分別など身近な問題をテーマに研究発表したり、地域文化の伝承として取り組んでいる「大拍子」などを披露したりしました。



高野中学校の作品を鑑賞する来場者

比和地域

元気いっぱい防火を呼びかけ

比和幼年消防きららクラブパレード



「火の用心!」

比和保育所の園児で結成する比和幼年消防きららクラブでは、秋の火災予防運動にあわせて、10月26日(水)にパレードを行いました。

パレードには、庄原消防署高野出張所の所員や庄原市消防団比和方面隊の団員も参加。参加した約30人の園児は、「絶対に火遊びはしません」、「約束を守って火事にならないようにします」など、防火の誓いをしながら市街地を歩きました。

またパレードの後には、庄原消防署のはしご車を見学し、防火への意識を高める有意義な一日となりました。



はしご車へ乗り込む園児たち

総領地域

一足早いクリスマス

「ともいきの里」と総領保育所の交流会



プレゼントされたちぎり絵

11月16日(水)、障害者福祉施設「ともいきの里」の入所者の皆さんが総領保育所を訪れ、園児たちとの交流のひと時を楽しみました。

交流の中では、入所者の皆さんがこの日のために2か月かけて作成したクリスマスツリーのちぎり絵が、一足早いクリスマスプレゼントとして園児たちに贈られました。細かくちぎって、丁寧に色づけされたちぎり絵に園児たちは大喜びで、「どうやってつくったん?」などと質問をする姿も見られました。

その後は、園児が入所者のみなさんと握手をしたり、肩をたたいてあげたりと交流を深め、笑顔と笑い声あふれる一日となりました。



心をこめて肩をたたく園児

西城地域

交流を楽しむ一日

西城まちづくり大学第3回講座



「絵手紙講座で描きました」

50歳以上の方を対象に、まちづくりについて意見を交わしたり、さまざまな教養を身につけたりすることで生きがいづくりをしていく「まちづくり大学」の第3回講座が、11月4日(金)、西城紫水高校で開催されました。

今回の講座は、「学校へ行こう週間」に合わせた西城紫水高校との交流会。参加者は、午前に交流授業のグランドゴルフ、料理、音楽、パソコン、美術の5講座で高校生と共に学び、午後からは、体育館で弦楽四重奏を鑑賞した後、今日の感想などを互いに発表。参加した皆さんからは、「孫世代の子どもたちとの一日を振り返り、「楽しかった」、「元気をもらった」などの感想が聞かれました。



音楽の講座で民謡を歌う参加者

東城地域

江戸時代の風情そのままに

お通り

11月3日(木)、東城町の市街地を中心に、江戸初期から続く東城の伝統行事である「お通り」が開催されました。メイン会場の東城小学校グラウンドでは、オープニングに比婆荒神神楽の舞いや鉄砲隊による演武、出陣式が行われた後、「武者行列」が出発。続いて「大名行列」、我が子の健康と平和を願う意味を持つ「母衣(ほろ)」、かわいらしい「華童子(はなわらべ)」がゆっくりと町内を練り歩きました。

見物客は、演武で放たれる大砲と鉄砲の音に拍手や歓声を上げたり、時代絵巻から抜け出したような華麗な行列をカメラに収めたりと、伝統行事を楽しんだ一日となりました。



江戸時代さながらの華麗、勇壮な姿

口和地域

ホームステイで心の交流

第8回国際交流ホームステイ



消火器を使った訓練に挑戦

11月18日(金)から20日(日)まで、広島大学の短期留学生が庄原市を訪れ、ホームステイや交流行事に参加しました。これは、旧口和町国際交流協会からしばらく国際交流協会へ引き継がれた国際交流ホームステイ事業で、今回で8回目。韓国、フィリピンなどアジア諸国やオセアニア、アメリカなどの大学から交換留学で訪れた9カ国22人が、口和町内などの19家庭にホームステイし、消防訓練や和服の着付けを体験しました。

最終日のお別れ会では、「自宅にいながら、海外の生活を体験できたような気分になれました」という感想も聞かれ、別れを惜しみながら再会を約束する姿も見られました。



和服の着心地はどうでしたか